

弥生人たちは、いったいどのような服を着ていたのでしょうか？ 古い中国の歴史書にそのなぞを解くヒントがあります。

「魏志倭人伝」という書物で、その中に弥生人の服装についての記述があります。それによると、「男は、かみを逆立て、ハチマキをし、はば広い布を結び束ねて体にまとっている。女は、かみを結ったりおさげにしたりし、衣服は中央に穴を開けた布に頭を通して着ている。」というのです。この女性の着ていた服が「貫頭衣」といって、教科書等に登場する弥生人たちの服装のイメージの元になっています。一枚の布の真ん中に頭を通す穴を開け、それをすっぽりとかぶって、こしひもでとめていたというのです。

全国各地の遺跡から、織った布切れや、機織りに使った道具等が見つかります。いったい、どのようにして当時の人々は布を作っていたのでしょうか？

今回は、当時の弥生人たちが行っていたと思われる機織りを体験してみることにしましょう。



弥生時代の遺跡から見つかった布の材料は、次のうちどれでしょう？

- クイズ ①木綿 ②羊毛 ③絹 ④麻 ⇒ ()

弥生時代に行っていた方法で、機織りをしてみましょう。

チャレンジしよう

「機織り」に挑戦しよう！

【準備】 アクリル毛糸、丸棒、ビニールひも、レース糸、厚紙、アクリルじょうぎ、接着テープ、アイロン、紙テープ、わりばし



① 1m間かくのたて糸を作ります。3本の棒に8の字を書くように糸をかけ、アヤの所にひもを通します。



② 両はしをひもでとめ、そと棒からはし機の上に糸をのばして置きます。たて糸をはしから順番に棒に通します。



③ わりばしにレース糸を結び、アヤの部分の上側の糸だけをすくいソウコウを作ります。レース糸を紙テープで固定します。



④ アヤの向こう側のすき間に中筒を入れ、ぬげ落ちないように毛糸で結びます。



⑤ 手前の棒にこしあてを取り付け、向こう側の棒を機に固定します。わりばしに横糸を巻きつけ、織っていきます。



⑥ 出来上がったマフラーをふくろ状にし、アイロンを使って接着テープで止めます。ひもを通す穴も同じようにして作り、裏返すとペットボトル入れの完成です。

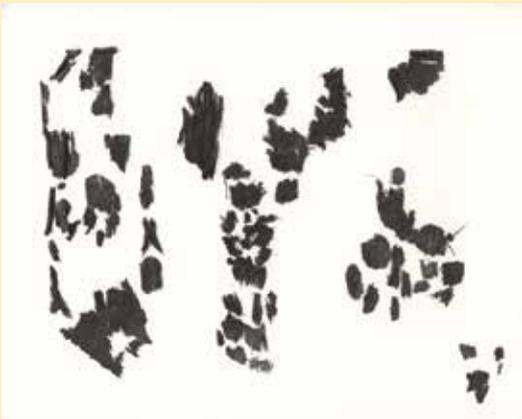




はた お
機織りのポイント

- 1 開口具を引きよせて、上下の経糸にすぎ間をあげ、そこに緯糸を通します。
- 2 綜絢を持ち上げて、経糸の上下を入れ替え、逆方向から緯糸を通します。

弥生人たちは、上の図のようにして機織りをしていたと考えられています。機織り機を使わずに図のような織り方をすると、出来上がる布の幅は、30cm程度が限度になります。弥生人たちは帯のような布を織り、それらを縫い合わせて貫頭衣を作っていたのでしょね。



青谷上寺地遺跡から出土した布片（絹）
写真 鳥取県埋蔵文化財センター提供

い せき しゆつ ど めのへん
豆知識 2 遺跡から出土した布片

静岡県しずおかけんの登呂遺跡とろや奈良県ならけんの唐古・鍵遺跡からこ かがから麻で織られた布片が見つかり、佐賀県さがけんの吉野ヶ里遺跡よしのがでは、絹で織られた布片が見つかりました。

鳥取県とっとりけんでは、青谷上寺地遺跡あおやかみじから絹の布片が見つかりました。布は土の中でくさってしまうため、布片の出土数は少ないのですが、土器どきの底そこについた布のあとや機織りに使った道具など等から、機織りが行われていたことがわかります。

※みなさん、ペットボトル入れは、上手じょうずにできましたか？ 今日きょうの「機織り」体験たいけんで発見はっけんしたことやわかったこと等、感想かんそうをまとめてみましょう。
